

ちょっと道德

庭 坂 小 学 校
道 徳 便 り

No.17

平成28年1月29日(金)

ちょっと紹介，お家の方々からの メッセージ！

前回ご紹介しきれなかった道德の授業参観についてのご意見やご感想を紹介いたします。

あなたにとって「仕事」とは？

- 「仕事」について親子で話し合ってみました。「生活していくために必要なこと」「給料をもらうために」「みんなの役に立つため」などの理由が出ました。ただ仕事は「お金をもらうため」の手段ではないということも話しました。また，家事に給料は出ないけれど，大切な仕事だということや，お手伝いも立派な仕事だよと伝えました。（大須賀さん）
- 翔大とは少しずつですが，「将来どんな仕事をしてみたいか」話したことはありますが，「夢を叶えるには努力が必要なこと」や「そのために今すべきこと」など話しています。まだちょっと難しい課題で，夢に向かってやるべきことを考えている途中です。（後藤美香さん）
- ちょうど看護師という仕事に少し興味をもっていた娘だったので，授業でフライトナースの話を勉強したので，ますます興味を持ったようでした。今は，クラスでの係の仕事が自分にとっての役割，家では夕食後の茶わん洗いが役割となっています。茶わんを洗ってくれて母がとても助かっているというように，どんな小さなことでも，どこかで誰か感謝している人がいるかもしれないねという話をしました。（石田理恵さん）
- 私が働いている仕事の話やどんな時に達成感や責任が生まれるかなど話しました。（今井里帆さん）
- 今回の道德の授業，自分の小学校時代の道德の授業を思い出し，懐かしい気持ちになりました。働くことの意義についてみんなで話し合い，いろいろな意見が出て，その内容に感心したり笑いがあつたりと，とても楽しくすばらしい授業だったと思います。息子には責任をもって働くことの大切さを教えました。自分のためだけではなく，常に周りの人たちのことを思いやる，そんな気持ちを大切にしてほしいことをつたえました。（斎藤真由美さん）

- 難しい題材だったので、我が家では、スポーツのポジションに例えて話をしてみました。与えられた役割がきちんとできた時の達成感や周りの影響、またその逆の時のことを話してみました。(国井千夏子さん)
- 人はなぜ働かなければならないのか、また仕事に優劣・貴賤があるのかわからないのかについて具体例をあげながら話し合いました。(松谷基和さん)
- 会社の仕事ばかりでなく、家庭の仕事、家事、育児、地域の役割など様々な仕事に誇りをもちたい。(長沢美希さん)
- 「どんな気持ちで仕事しているの？」と聞かれました。私は専業主婦ですが、面倒くさいなあと思う時もありますが、子供のために家族のために食事の用意や洗濯、そうじをやっていると答えました。(木戸桂子さん)
- お客様に「ありがとう！」と感謝の言葉をいただけた時はもっと良い仕事をしよう、もっと勉強しようという励みになります。(佐藤雪絵さん)
- 働くということは、常に不安や緊張感がつきまとうものであり、お父さんもお母さんもいつもそれと闘っていると話しました。それは、会社などで働くということだけではなく、主婦の人も地域のために働いてくれる人も同じだと話しました。責任感をもって働くこと、何のために働くのか話し合いました。(道山絵梨さん)
- 学校でも自分の係をやっていると聞き、家でも自分のする手伝いを嫌がらずやるようになり、何事も他人まかせにせず、進んでいろいろやっていたいこうと思ったそうです。(長谷川美恵さん)
- 仕事がどんなことなのか、自分にとってどんなことができるのか友斗なりに考えてるようで感心しました。環境に優しい車を作りたいそうです。いろいろな学習を通して夢も広がるといいですね。(二階堂弘美さん)
- 今現在やりたい仕事や職業に具体的なものはありませんでしたが、自分が生きていく生活していくためには、お金が必要、そのためには仕事を持ち一生懸命働かなければならないことを話しています。(佐藤雪絵さん)
- 自分が楽しいと思えるような、やりがいのある仕事をしてほしいと話しました。(板橋祐子さん)
- 働くお母さんに代わり、自分の子供と同じように愛情をもって接し、日々の成長を楽しみにして仕事をしています。また小さい子供たちなので危険のないよう常に目を配り、安全を心がけています。(亀岡美和さん)
- 働くことは自分のためだけではなく、誰かのために役立っていることもある。これから先、自分が何をしたいか、社会の中でそう役立てるかを考えながら将来の道を決めていけるといいねと話しました。(梅津素子さん)



☆まだまだメッセージが寄せられています。次号に続きます！

